



ガーデンネックレス横浜 (神奈川県)

第1回(2019年)登録
ガーデンネックレス横浜実行委員会

ガーデンネックレス横浜は、街・港の風景とともに、花と緑、イベント、食、ショッピングなどをネックレスのようにつないで、「横浜ならではの花による街巡り」がコンセプト。みなとエリアと里山エリアがあり、官民一体で花の街を彩っています。

さあ、花の街歩きへ

横浜には開港以来の歴史とともに育まれてきた美しい公園や、緑豊かな里山があります。西洋バラの多くが、鎖国後に開港した横浜から日本に上陸したといわれ、その後1世紀以上にわたり市民に親しまれてきました。ガーデンネックレス横浜の魅力は、庭園や街並み、歴史的な建物を見て回れるだけでなく、イベントや食も含めてすべてをネックレスのようにつないで楽しめるところにあります。

春の里山、桜を満喫

3月末~4月初旬、よこはま動物園ズーラシア隣接の「里山ガーデン」では展望デッキから横浜最大の大花壇と桜を楽しめます。「山下公園」のとなり、ホテルニューグランドでは桜を見ながらのランチはいかがでしょう。また大岡川では、川の両岸に続く桜並木を見ながらのクルーズも体験できます。

3つのチューリップガーデン

4月上旬~中旬、「横浜公園」では12万球のチューリップが圧巻。「山下公園」ではチューリップをはじめ異なる球根をミックスして植え、訪れた時々で違う景観を楽しむことができます。チューリップのほか草花が混植された「新港中央広場」もおすすです。

バラの街歩き

5月上旬~下旬は「山下公園」「港の見える丘公園」「横浜イングリッシュガーデン」など、バラの見どころがいっぱい。バラをテーマにしたイベントも各所で開かれます。周辺のレストランやカフェでは、花にちなんだ期間限定オリジナルメニューも登場。

History 開港の歴史とともに

開港のころ、未知の植物の宝庫だったわが国には多くのプラントハンターが来日、園芸植物は横浜港の特徴的な交易品になりました。ユリはその代表的なもので、ほかに数々の植物が輸出されています。逆に西洋から日本へ、バラ、チューリップなどが輸入され、バラは市民によって市の花に定められました。横浜は大都市でありながら都市農業が盛んに行われていることも特徴です。横浜市の農地面積は神奈川県最大。花き農家、造園会社も多く、「里山ガーデン」の花苗の9割は市内産です。



里山ガーデンフェスタ

春と秋に期間限定で公開される大花壇が楽しめるイベントです。2021年春のテーマは「実の春(みのりのはる)」。

ウェルカムガーデンには、食べられる花(エディブルフラワー)、野菜、ハーブなど食卓にも使える植物も。



横浜ローズウィーク

「山下公園」などのバラ園をはじめ、民間のバラ園や飲食店と連携したイベントです。歴史的空間を生かした街並みとともにいくつものバラ園を巡り歩けるのは、横浜ならではの魅力といえます。



ガーデンベアのフォトスポット巡り

みなとエリアの花の見どころに、マスコットキャラクター「ガーデンベア」のフォトスポットを設置。素敵な写真を撮りながら観光名所が回れます。QRコードを読み取るデジタルスタンプラリーも実施。



Area

花×横浜×食

横浜には和・洋・中・スイーツ、カフェやバーなど、魅力あふれるお店がいっぱいあります。そこで花×横浜×食のイベント「花味絵図」を期間限定で開催しています。横浜の有名シェフやパティシエ、バーテンダーとコラボレーションし、「花」をテーマにしたメニューを市内レストランなどで提供。花を巡り、おいしいものにホッと心安らぐ。そんなひとときを、各店舗を紹介するグルメマップを参考にしながら楽しんでみませんか。

一言お願いします!



横浜といえば港や中華街など有名ですが、花と緑の街歩きもとても魅力があります。個人的なおすすめは赤レンガ倉庫を背景に写真映えのする「新港中央広場」です。花の見どころや、イベントもどんどん増やしていきますので楽しみに!



ガーデンネックレス横浜実行委員会
事務局 坂井和洋さん

詳しくはこちら

<https://gardennecklace.city.yokohama.lg.jp/>

